

書 写

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	書写 002-72	B 5 変型 146	令和6年
15	三省堂	三省堂◆	書写 015-72	B 5 122	
17	教育出版	教 出◆	書写 017-72	A B 146	
38	光村図書出版	光 村◆	書写 038-72	B 5 変型 166	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

都立 白鷗高等学校附属中学校 書写 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	7	8	17	17
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	1	0	5	5
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	6
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	10
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	7
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	2
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	2
	発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	5
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見直しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「『書き方を学ぼう』一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり

都立 小石川中等教育学校 書写 採択資料

		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	書く文字を生徒が選択する教材数	1	3	4	3
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	1	0	5	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	8
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	1
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	3
	発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	1
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見直しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「『書き方を学ぼう』一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり

都立 両国高等学校附属中学校 書写 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	7	8	17	8
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	1	0	5	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	8
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	1
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	3
	発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	1
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見直しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「書き方を学ぼう一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり

都立 桜修館中等教育学校 書写 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	7	8	17	8
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	1	0	5	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	8
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	1
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	3
	発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	1
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見通しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「『書き方を学ぼう』一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり

都立 立川国際中等教育学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	書く文字を生徒が選択する教材数	1	3	4	3
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	1	0	5	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	8
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	1
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	3
発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	1	
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見直しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「『書き方を学ぼう』一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり

都立 武蔵高等学校附属中学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	書く文字を生徒が選択する教材数	1	3	4	3
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	1	0	5	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	8
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	1
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	3
発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	1	
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見直しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「『書き方を学ぼう』一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片づけ」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり

都立 富士高等学校附属中学校 書写 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	7	8	17	8
	書く文字を生徒が選択する教材数	1	3	4	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	8
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	1
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	3
	発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	1
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見直しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「書き方を学ぼう一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり

都立 大泉高等学校附属中学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	書く文字を生徒が選択する教材数	1	3	4	3
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	1	0	5	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	8
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	1
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	3
発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	1	
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見直しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「『書き方を学ぼう』一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片づけ」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり

都立 南多摩中等教育学校 書写 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	書く文字を生徒が選択する教材数	1	3	4	3
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	1	0	5	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	8
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	1
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	3
	発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	1
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見直しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「書き方を学ぼう」一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり

都立 三鷹中等教育学校 書写 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	書く文字を生徒が選択する教材数	1	3	4	3
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	1	0	5	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	6	6	6	8
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	8	8	10	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	3	3	7	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	2	2	2	1
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	5	3	2	3
	発展的な内容を取り上げている箇所数	1	2	5	1
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を、「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、見直しをもつ、「書き方を学ぼう」、毛筆で書く、振り返る、「書いて身につけよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「はじめに」という内容を設定し、「これまで学んできたこと」、「姿勢と筆記具の持ち方」、「基本の点画の書き方」、「字形と配列を整える書き方」について確かめることができる。 ・「さまざまな書式」、「硬筆字典」、「ノートの取り方・レポートの書き方」という資料を「書写活用ブック」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「手書き文字と活字」、「文字の移り変わり」他、第2学年に「伝統的な用具・用材」、「筆記具の使い分け」他、第3学年に「書いて味わおう」、「書の古典—今に生きる書」他を掲載している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「便箋と封筒の書き方」、「はがきの書き方」、「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」、「文房四宝」、「書の古典」、「毛筆補充教材」、「楷書・行書一覧表」、「二次元コード一覧表」、「書き初め」、「『書き方を学ぼう』一覧」という資料を「資料編」として巻末に掲載している。 ・学習内容に関連するコラム教材として、第1学年に「活字と手書き文字・筆順」、「文字の変遷」、第2学年に「学力テスト問題」を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」、「学習内容を効果的にノートに書こう」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片づけ」、「ノートの書き方」について確かめることができる。 ・「書式の教室」、「書写テストで確認」、「書写で身につけた力を、学習活動で活用しよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「筆、墨、硯、紙について知ろう」、「文字の変遷」他、第2学年に「短冊と色紙」、「日本建築と『書』」他を掲載している。	・「中学書写スタートブック」という内容を設定し、「姿勢・筆記具の持ち方」、「用具の準備・片付け」、「学習の進め方／タブレットを活用しよう」、「字形の整え方」について確かめることができる。 ・「日常に役立つ書式」、「中学生のための漢字字典」、「書き初めマスターブック」という資料を巻末に掲載している。 ・学習内容に関連する「コラム」として、第1学年に「文字の歴史を探る」、第2学年に「全国フォント見つけ隊」、第3学年に「ユニバーサルデザインフォントって何だろう」、「自分らしい文字」を掲載している。 ・別冊「書写ブック」として、楷書（「漢字の筆使い」他）、行書（「点画の変化」他）の硬筆を練習する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	あり